

日刊新聞 昭和十一年六月十三日 第九二六日

アンビションとは野心 野望、功名心、名譽心 又は媚俗の意、日頃の 彼れは一と際アンビシ ョンを逞まして来た などは云ふは其れを 指したるもの、アンビシ ョンも大体に於て同意

二萬町民の安住地を脅かして何の國富ぞや

探堀反對に決した協議會と 一般町民にも同様の激昂

平町市街地下の石炭探堀には 山監督局が豫めて説く所の國 家の富を往々に埋蔵するとなす 主張は炭礦業のみを國家的 と見て三萬町民の安住地を脅かすことを顧みない片端的 のもので僅々二、三十萬坪に 埋蔵する石炭探堀に地表の諸事 業を動搖せしめて何の國富で あらう國家の官廳である以上 は自治体をも無視出来ない筈 である然るに吾人を説くに當 つて地下深い無障害を擧げて 筑豊炭田の慘害を語らず且つ 又平町に近き諸計畫を陳ずれば 將來の如きは理由相立せず と一蹴して町永遠の大業を破 壊せんとする處置には如何に した向は炭礦の再出願を聞く 各區長を初め一般町民に於て

精銳漁船六隻が北洋漁業に進出

夏枯時新しい職場開拓 期待される今後の活躍

縣水産試験場では縣下漁業界 指導に着手する事になつた、 に遠洋漁業を奨励大型遠洋漁 船の築造等に努めて来たが、 昭平丸、山田丸、小名瀬丸等 が愈々揚子江の精銳六隻、 共徳丸、即ち水産試験場の精 鋭を自として遠洋漁業の實地 旋で某大船社との契約成立し

て前記六隻乗組の漁夫三百十 餘名が明後七月一日の晩を破 つて遠く北洋漁場を目指して 船出する事になつたもので本 縣の北洋進出は今回が始め てあるだけ非常な注目さ れてゐる、右に就て中山場長 は 六月下旬からは本縣沖合の 鰯漁は夏枯時で漁夫は職場 を失ひバラバラに散つて了

本春鰯に多い蛆害 原因に三つの考察

鰯の糸量は案外少く解鮮は良 質は例年並と云ふところ

本年の春鰯に驚くべきキョウ のだけで約四萬貫を買入れ向 蛆被害があるのは鰯業と 協方鰯除害防に努めてゐるが 今二十九日までの特約組合も 昭和人絹工事に またぞろ大恐喝

昭和人絹工事に またぞろ大恐喝

請負を渡せと稱し八百圓を

全縣下に亘るダニ狩りに際し 田署に護送二十八日來殿取 調を續けてゐるが鈴木は去三 月二日東京南千住土木請負業 廣吉野吉野精(三)と共謀して 人絹工場に強引引込線工事を 請負つた東京三河島三浦定治 (三)に對して下請負を渡さなけ れば罷り込むと恐喝して五百 圓、三百圓を恐喝したもので 共犯吉野は逃早くも逃走目下 各署に手配中である

坑夫二名重傷を負ふ

昨日緩坑内の椿事

昨二十八日午後六時頃内郷村 磐城炭礦緩坑内右二下右四 片ダイナマイトを使用發破作 業中の坑夫藤田坂居住半澤 清(三)同坑夫大宇宮宮澤川 口飯場居住安藤泰義(三)の兩 名は裝填したダイナマイトが 不發なので裝填場所に近付い た際俄然大音響と共に爆發兩 名とも重傷を負ひ入平不省に 陥つたので直に炭礦病院に昇 ぎ込み緊急手当を加えたが半 澤は全身に擦傷を負つた原 因調査の結果當日發破作業の ためダイナマイト十三本を裝

モーターボート顛覆

塔乗の二名救助さる

小名濱町古港野崎行方原 たのを附近を航行中の小型漁 船の漁夫小野武雄外二名が發 見協力して三名を救助した、 十八日午前七時頃野崎野崎の ためモーターボートに塔乗同 港八百米沖合を航行中突如大 波浪に煽られてボートが顛覆 三名ともアワや溺死せんとし

慰安旅行

片倉の糸姫に

經費千五百圓で 明州日松島見物 平町の片倉製糸では糸姫遊 百名に春蘭線系に移る以前慰 安旅行の希望をとつたとこ ろ松島を見たいと云ふものが 多かつたので折角の希望を容 れ多丸現業場の引率で明三 十日午前二時五分半發の臨時 列車を立て、鹽釜に向ひ同地 の神社参拜の後灣内一日の 清遊をなし鹽釜發午後四時五 十二分(平港午後九時)で歸場 の答だが經費は約一千五百圓 の豫定の由

鹿島村會

共進會審査

鹿島村では二十八日午前九時 から今年度戸數決定のため 村會を開いた 郡下小麥並に水田二毛作成績 共進會審査は昨二十八日午 後一時から平町團体事務所 に開催した 玉川講堂上棟式 玉川村では總工費六千餘圓を 投じ小學校講堂を建築する事 になり着工したが二十八日盛 大な上棟式を舉げた 鹿島診療所落成 鹿島村では千五百圓を投じて 村醫診療所を設置する事にな り新築工事中の處此の程竣成 したので二十八日午後二時か ら落成式を兼ねて盛大な開所 式を舉げた

四中等校のリーグ戦

勢中、平商とも出場

勢中、平商とも出場 三十日双葉中學校で舉行され る濱通り中等野球リーグ戦出 場のため勢中、平商兩校では 目下必勝の意氣物練く練習中 であるが勢中の優勝を豫想さ れてゐる

視察夜話

産案 資源部員

多田井生 船の産額五萬 圓と云はれる長 良川が北部に沿 びました途中京都、大阪、神 戸等を昇學したかつたが他部 に御委せして置きました、午 後一時三十分「わたりや備 ませう、 此の頃の起源や意味に就て は色々な説があるようです、 な町、豊かな生活を自慢して ゐるのだと云はれてゐます、

# 藤方

## トソーズ トソーズ トソーズ

4 東農大 長坂農學士  
竹の水蒸餾詰  
原料、孟家竹などの肉質厚く軟かいものがよいから普通一尺以内の若竹を使用する調理法、原料は新鮮なものを可とするので成るべく當日採集したものがよい、採集したものはよく洗って泥土を落し頭部を切り去つて皮づきのまま水煮をするのである、その程度は原料の品質等によつて異なるが指の頭で壓して柔らかくなる程度が丁度よい、柔かい原料では二十五分ぐらい、硬いものでは三十分位煮ればその程度になる、煮たものは直ちに清水に投じて冷やし、皮をはいで根の堅いところを切り去り大きいものは切半して流水に一晝夜浸してアク抜きをするのである、竹のアクと稱するのは主にでんぷんや樹脂等であるが此のアク抜きが不十分であると製品に白いものが浮いて外觀が悪くなるから此の點によく注意する、流水でないときは水を五六回換える必要がある、此の換水を怠ると腐敗のおそれがある、  
醸造、罐は一號罐(六斤)二號罐(三斤)のやうな大きな罐を用ひることが多い、アク抜きをなしたる竹をこの罐につめて温水を八分目ほど注入し密封殺菌する、巻締罐であれば假巻締して脱氣して巻締して殺菌する

菌は野二號罐で攝氏百十二度七の高温度に二十分間である、ハンダ付では封鎖し氣孔をつくり脱氣直ちに排氣孔を封鎖し殺菌加熱し冷水にて急冷する普通釜では脱氣前十分脱氣後一時間煮沸するといふ。(終り)

### 牛も豚も優良品の自慢

肉の御 平町 田町  
用命は 三三三 三三三 三三三



### 近代趣味 パラソル豊富陳列

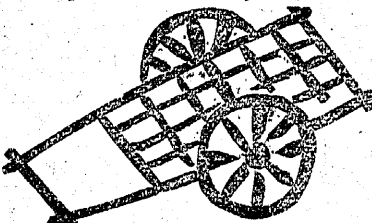
ツルヤ

電話一四〇

目科療診  
一、齒科 一般  
一、口 腔 外科  
一、レントゲン科  
院長 日本齒科 中野 惠次  
日本齒科 西川 誠  
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

平町	正	正	正	る	食	し
レストラン	しい	しい	しい		事	づ
サロン	い	い	い		の	か
電話三五二	酒	喫	食		出	に
	場	茶	堂		来	

### 貸手車



平町大町若松醫院隣

産科 婦人科 院長 長木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立蕃彌一  
平町新川町九一  
入院隨意 木村病院  
病室完備 電話一六四番

## 洋服は 高島屋

注文並に既製品

夏物 入荷  
澤山

高島屋洋服店

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内 正一  
電話一六番

平町二丁目 阿部助次郎  
電話一六番

## ★當りが多くて評判の パチンコはアツマ

アツマ遊技場

警署署 前通り

(磐城共濟病院) 福島縣平町電六四一  
内科 院長 醫學博士 石山謙二  
小兒科 部長 醫學博士 藤尚輔  
婦人科 部長 醫學博士 五十嵐雄二  
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 町久藏  
皮膚泌尿科 部長 醫學士 山澤正  
器病科花柳病科 醫學士 山澤正  
X線科 醫學博士 石山謙二  
藥劑科 技術員 石山謙二  
事務局長 藥劑師 鈴木本平  
事務長 鈴木本平  
(毎日午前八時より午後十時迄診察)  
●病室完備 入院隨意●

### 鼻の諸病に快鼻湯

本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に内服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發せし方々も本劑の服用により快癒された喜びの聲が各地から参つて居ります

効能  
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨灣曲症、並に中耳炎に神効の實證を受く

(快鼻湯) 製劑販賣元 水野藥局  
磐城平町一丁目(電話六九九番)  
振替口座仙台(八八七六番)



### マケネトロン

百萬の富より健康  
此新療法で病弱を御試しなさい

「治療代」は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します

嘘か實か百聞一見御試し下さい

治療所 日中は 城山藥園(電話一〇九九)  
日夜後は一丁目自宅(電話四七〇)

醫師 飯田近治

内科、小兒科 平町田町 電話五二三番  
外科、花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科 高久病院  
院長 醫學士 高久忠